



IX Knowledge Inc.

# 2023年3月期 決算説明資料

2023年5月26日

アイエックス・ナレッジ株式会社

東証スタンダード市場(9753)



# 目次

当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 業績

今後の取り組み

# 1. 当社を取り巻く環境と業績概要

当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 業績

今後の取り組み

## トピックス

## 2023年3月期 トピックス

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織再編</li> <li>・新入社員82名入社</li> <li>・おかえりなさい制度導入（2022年度採用実績：4名）</li> </ul>	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESG債への投資（日本学生支援債券）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ベンダー様、情報システム会社様 各1社から表彰</li> <li>・大手ベンダー様、情報システム会社様 各1社からパートナー認定</li> <li>・情報システム会社様1社から感謝状</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Ocean to Table アプリケーション」実証実験</li> <li>・「AWS 200 APN Certification Distinction」認定</li> <li>・チバテレSDGs推進キャンペーン協賛</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・譲渡制限付株式報酬制度導入</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット&amp;プログラム体験教室再開（1月、2月）</li> <li>・自己株式の消却</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手ベンダー様1社からパートナー認定</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社シーアンドエーコンピューター 子会社化</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己株式の取得開始 （2022年8月1日から2022年12月23日まで）</li> <li>・ジャパンインターナショナルシーフードショー出展、セミナー登壇</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「メル訓クラウド」サービス移管</li> <li>・テレビCM放送（テレビ東京）</li> <li>・日本赤十字社へ救援金寄付</li> <li>・日本経済新聞一面広告出稿 （3月22日付け、3月27日付け）</li> <li>・健康優良企業「金の認定」継続取得</li> </ul>

# トピックス <ピックアップ①>

## ● 株式会社シーアンドエーコンピューター 子会社化（2023年2月）

- ✓ 土木建設業界のノウハウと当社の知識や技術力を融合  
⇒ より付加価値の高いサービスの提供を目指す

## ● 会社概要

設立 1987年4月3日

資本金 1,000万円

代表者 代表取締役 石川勝行

所在地 東京都江東区

事業内容 土木建設関係のソフトウェア開発

CADとデータベースを使用した、ゼネコンや土木コンサルタント会社、コンクリート部材メーカーなど、土木建設業界に特化して技術開発・システム開発を行う。



# トピックス <ピックアップ②>

## ● 継続的なSDGsへの取り組み

- ✓ ロボット&プログラム体験教室の再開
- ✓ ESG債への投資 → 「日本学生支援債券」※を購入

※ESG債のソーシャルボンドに該当

- ✓ 日本赤十字社へ救援金寄付

⇒ ウクライナ人道危機、2023年トルコ・シリア地震救援金



# 社会変化への対応

## DXの加速、働き方改革の加速

### 当社の取り組み例

- クラウドネイティブ人財育成
- 社内デジタル化推進
- 採用・教育面でのオンライン化推進
- フレキシブルな働き方の展開
- 即戦力人財獲得に向けた新制度の導入

# 2023年3月期 業績概要（1）

当連結会計年度より、連結計算書類を作成しているため、次ページ以降では、前年度単体と今年度連結の比較をしております。

- **連結概要**

シーアンドエーコンピューターの貸借対照表のみ連結されております。

- **今期業績の内容**

持分法適用会社であるHISホールディングスの投資損益が含まれます。



## 2023年3月期 業績概要（2）

**【売上高】 20,206百万円（前年同期比9.0%増）**

主力事業のシステム開発、システム運用、基盤・環境構築案件に加え、コンサル案件の拡大により増収

### ● 売上への影響要因

◆ コンサル、システム開発サービスの売上増加（↑）

- ✓ 食品商社向けコンサル案件の拡大
- ✓ システム開発案件の増加
  - ・資産運用事業者向けシステム開発案件
  - ・総合物流企業向けシステム開発案件

◆ システム運用、基盤・環境構築の売上増加（↑）

- ✓ 社会・公共サービス系システム案件の増加

## 2023年3月期 業績概要 (3)

**【営業利益】1,459百万円（前年同期比26.9%増）**

売上高増加に加え、原価率の低減や販管費の抑制が寄与し、増益

### ● 営業利益への影響要因

- ✓ 売上高の増加
- ✓ 技術者育成による単価向上、  
適正な原価管理による原価率の低減
- ✓ 働き方改革・社内デジタル化への取り組み継続による  
販管費の抑制

## 2. 2023年3月期業績

当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 業績

今後の取り組み

# 2023年3月期 経営成績

(単位：百万円)

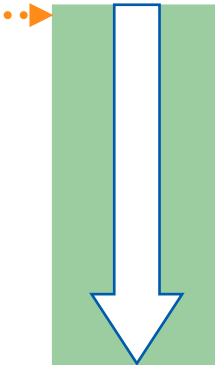
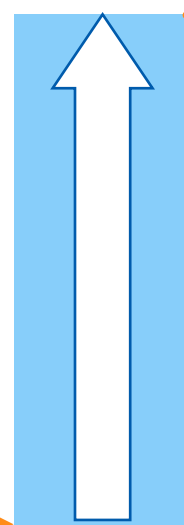
	2023年3月期	2022年3月期	増減率
売上高	20,206	18,541	9.0%
売上原価	16,172	14,978	8.0%
売上総利益	4,033	3,563	13.2%
売上総利益率	20.0%	19.2%	—
販管費	2,573	2,413	6.6%
営業利益	1,459	1,149	26.9%
経常利益	1,533	1,233	24.4%
当期純利益	1,027	848	21.0%
配当金	30円	20円	—

# 営業利益の変動要因

(単位：百万円)

売上高の増加 +1,664  
売上原価の増加 ▲1,194

営業利益  
1,149



販管費の増加  
▲159



営業利益  
1,459

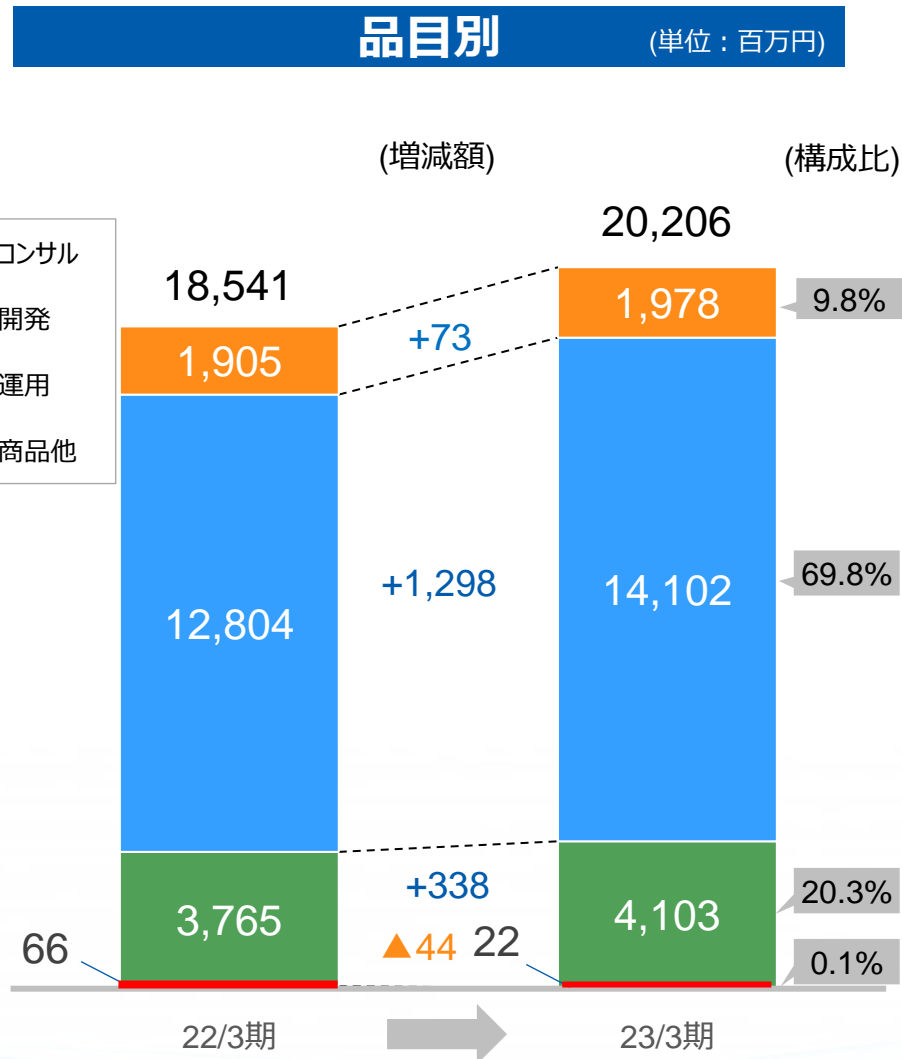
## 主な増減要因

- 技術者育成による単価向上、適正な原価管理による原価率低減
- 働き方改革や社内デジタル化の取り組み継続による販管費抑制

2022年3月期

2023年3月期

# 品目別売上構成



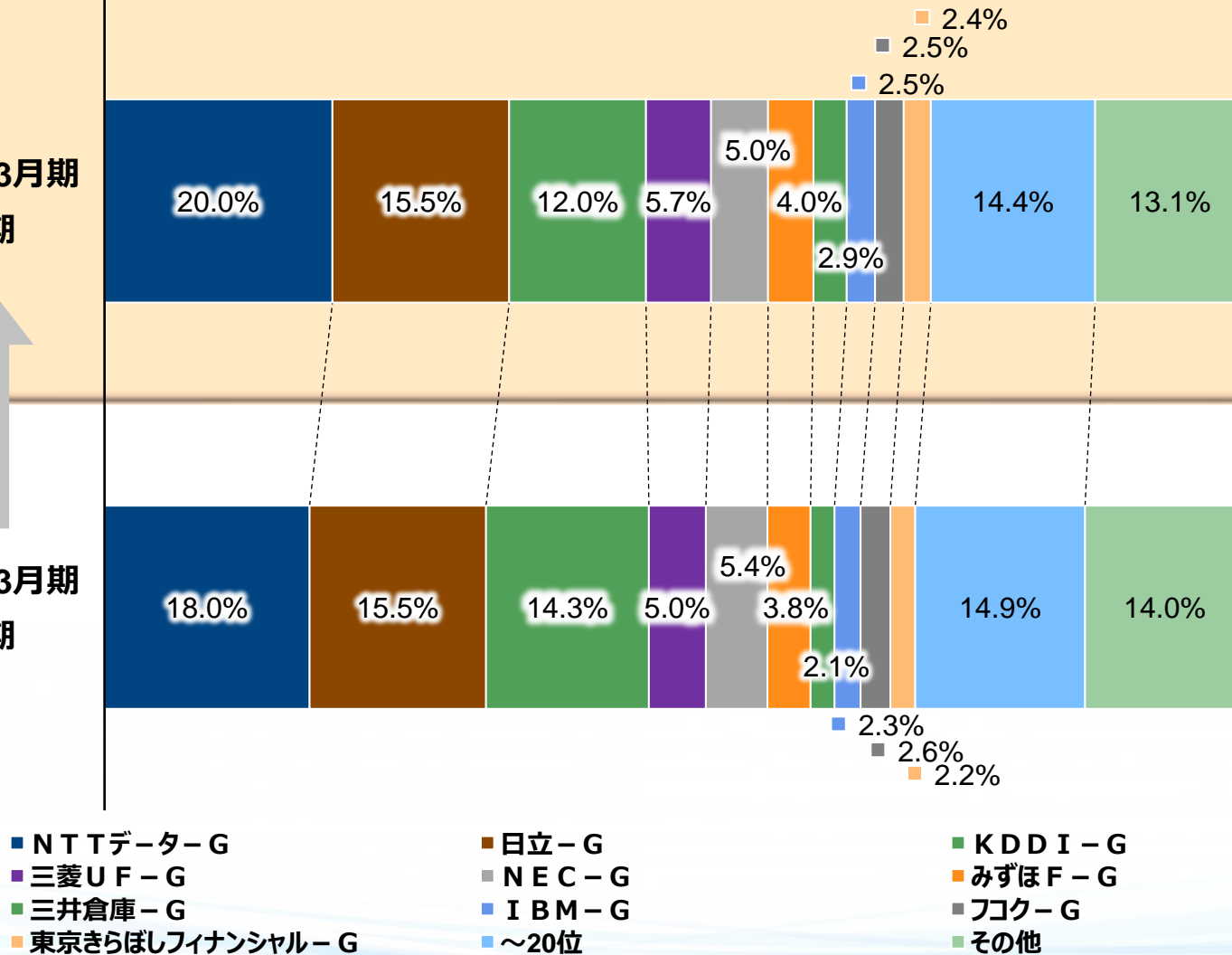
# 契約先顧客グループ別売上構成

2023年3月期  
通期

売上  
20,206  
百万円

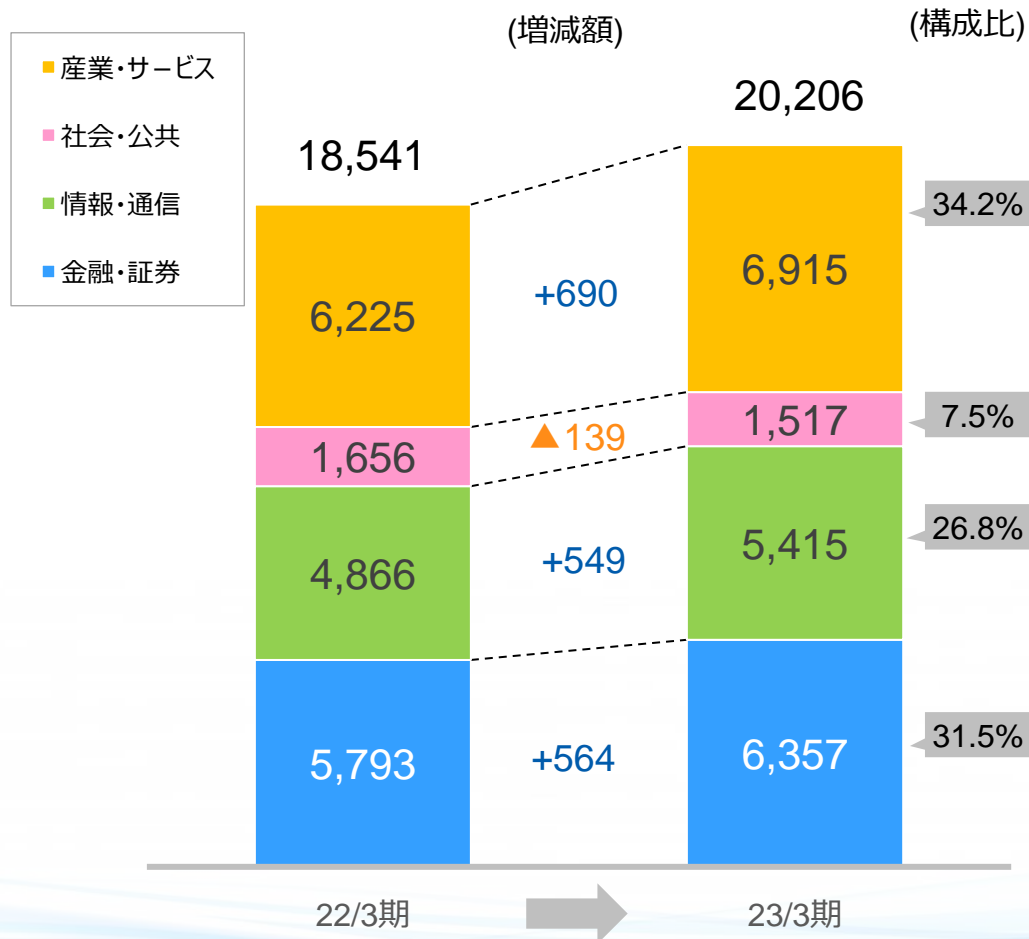
2022年3月期  
通期

売上  
18,541  
百万円



# エンドユーザー業種別売上構成

## エンドユーザー業種別 (単位：百万円)





# (参考) 当社グループのビジネス構造

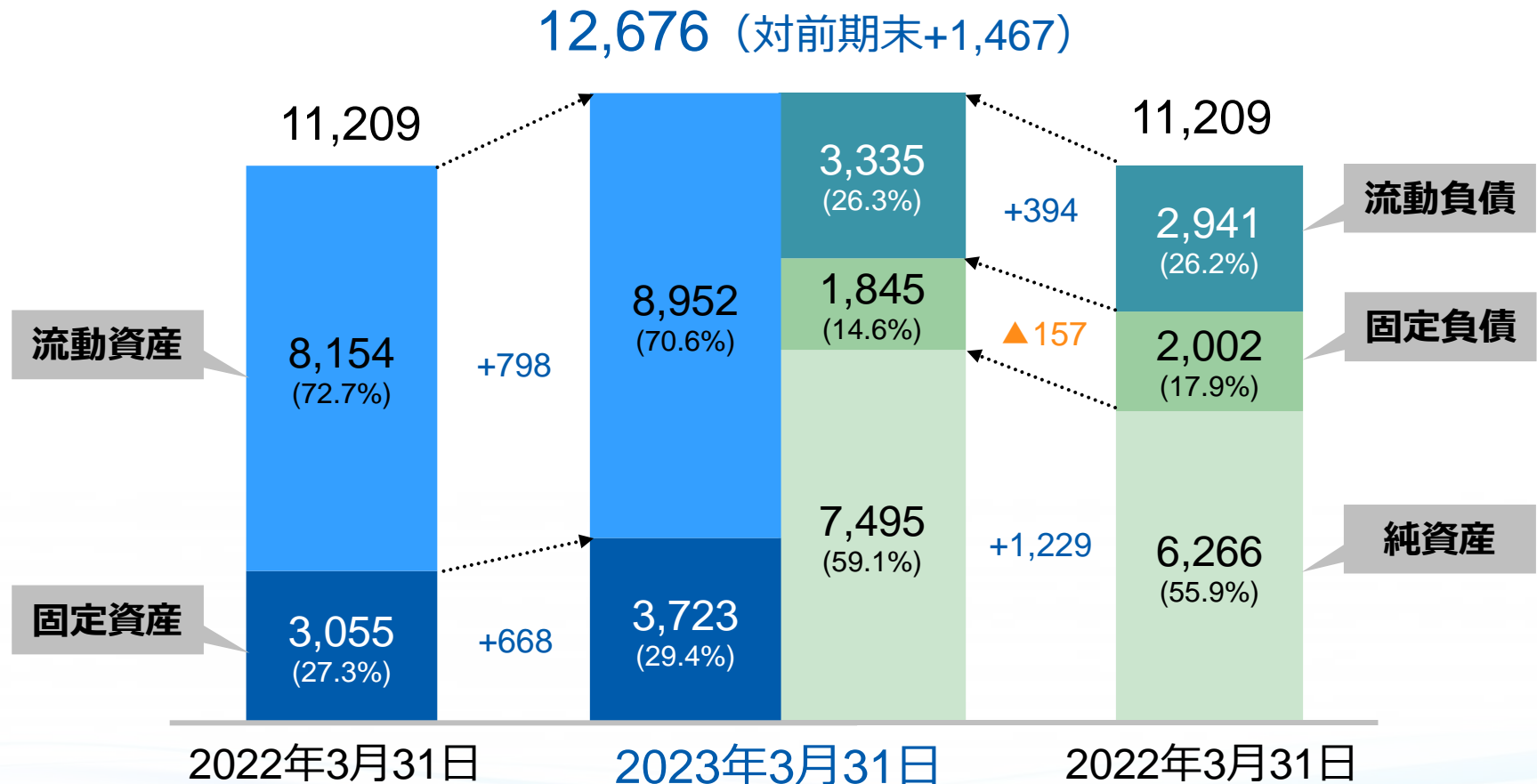


# 貸借対照表

## 資産の部

## 負債・純資産の部

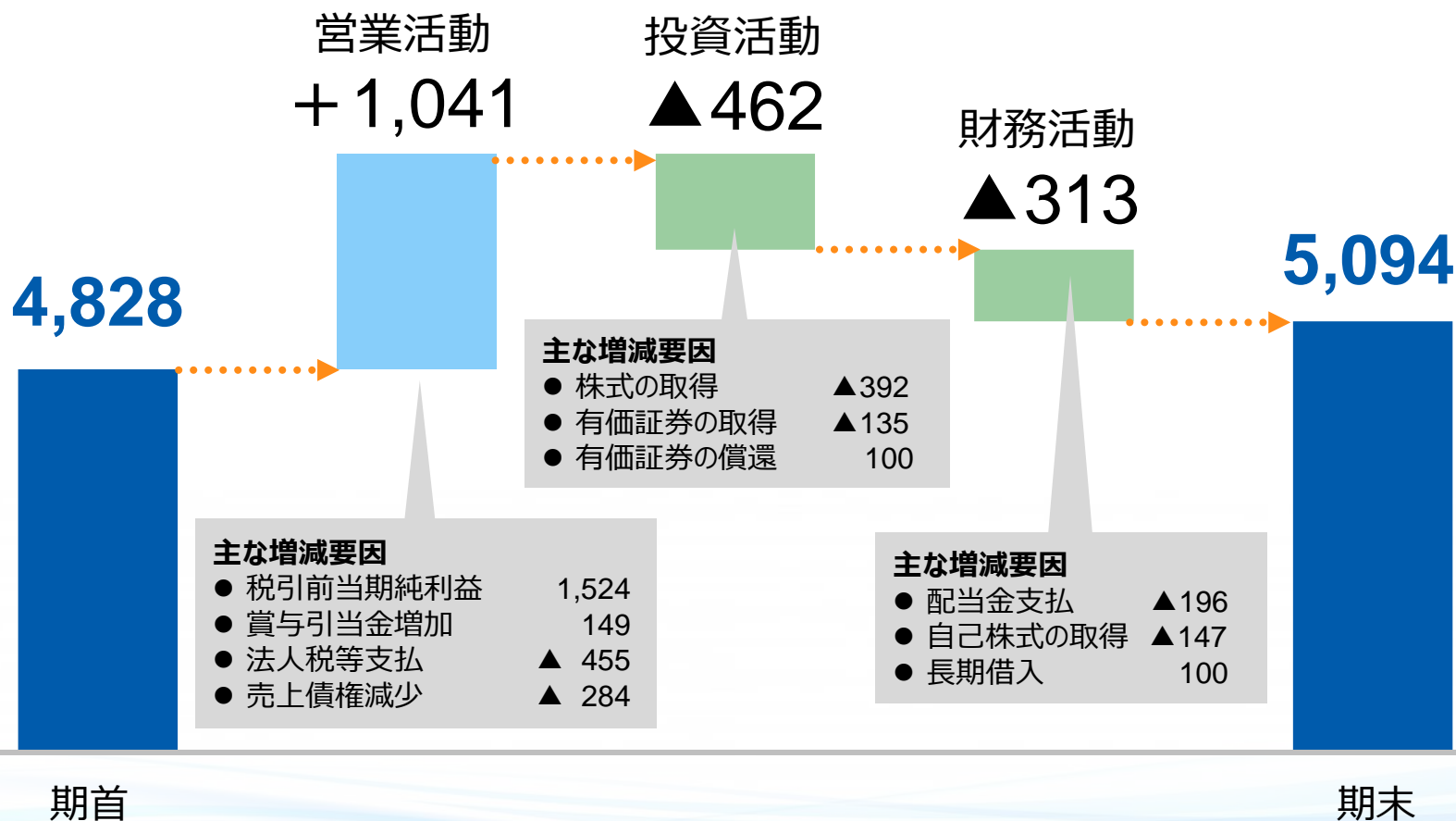
(単位：百万円)



# キャッシュ・フロー

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：百万円)



## 3. 今後の取り組み

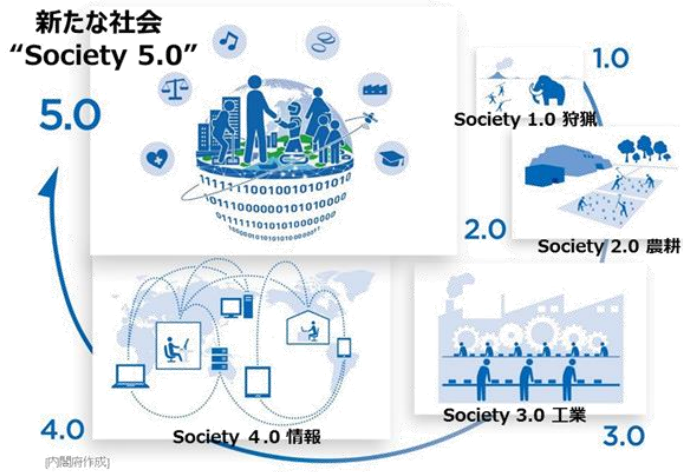
当社を取り巻く環境と業績概要

2023年3月期 業績

今後の取り組み

# 市場環境

## 情報社会（4.0）からSociety5.0の社会へ



出典：内閣府ホームページ  
([https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html))

## コロナ禍がもたらした社会変化



出典：photoAC

ITの浸透、AI・IoT、ロボティクス等  
の新技术を活用したDXの進展

新しい生活様式、ビジネススタイル、  
新しい価値観の定着

**DXの加速・働き方改革の加速**

# 市場環境に対する当社の取り組み

## <DXの加速>

社会活動・企業活動  
様々な分野でDX推進

## <働き方改革の加速>

テレワーク、Web会議  
ペーパーレス等

## 当社が担う役割

- ・既存顧客のデジタル化を見据えたシステム構築等への対応
- ・新たな技術への対応による付加価値やビジネスモデルの創出

お客様のビジネス課題解決

新たな市場創出

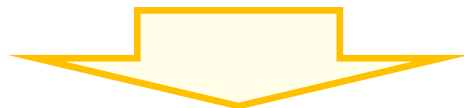
# 当社グループの取り組み ～中期経営計画～

## 【企業理念】

私たちは情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する

## 【ビジョン】

しっかりとしたモノ（システム）づくりと高品質のサービスを提供する  
すべてのステークホルダーから選ばれる企業になる



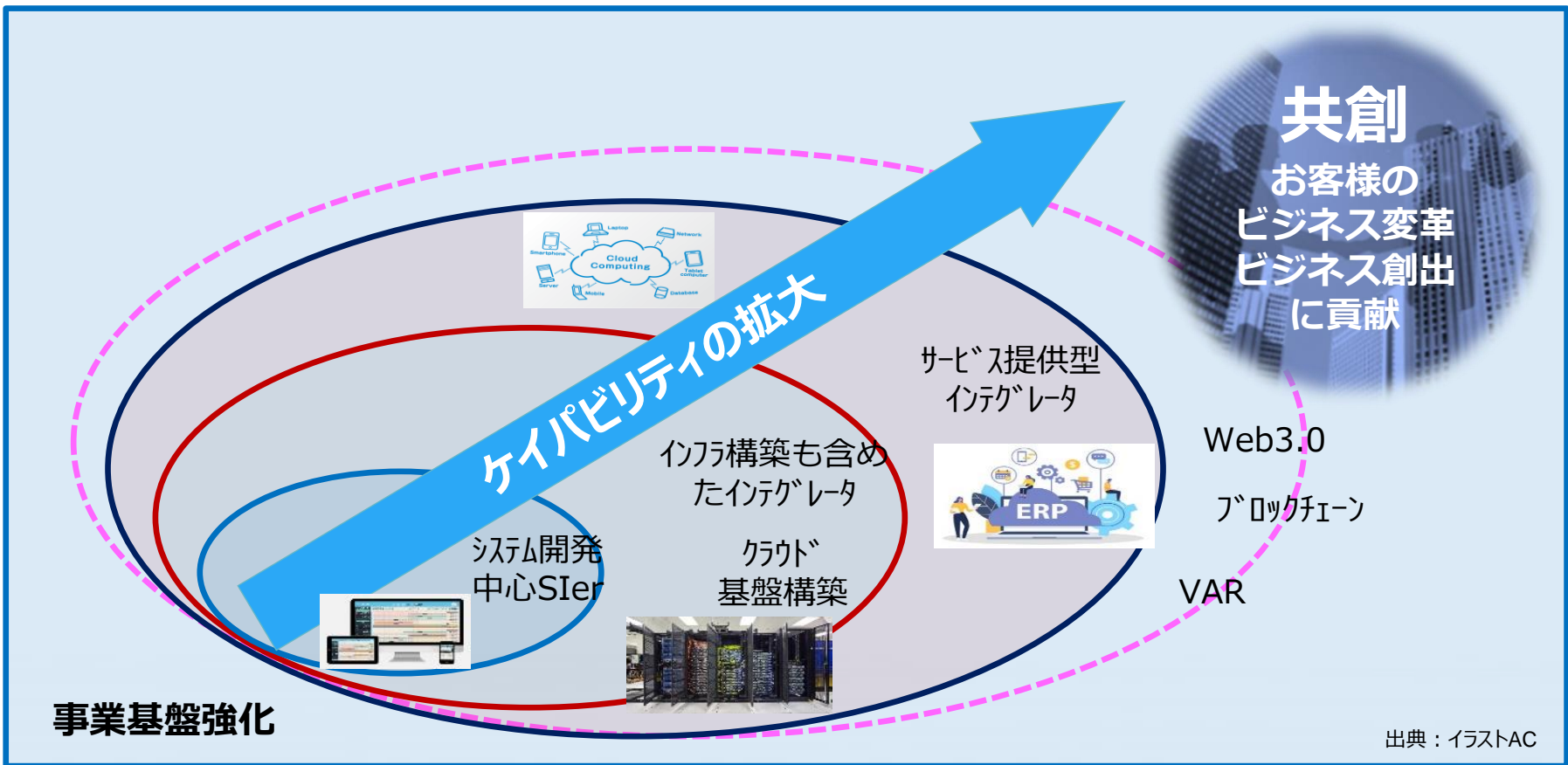
【中期経営方針】 5～10年後を見据えた経営方針

- ①中核事業の拡大    ②次期成長事業の創出    ③事業基盤の強化



【中期経営計画】3ヶ年のローリング方式

# 中期経営計画で目指すもの <中期経営方針3本柱>



プロフェッショナル人財育成
M&A検討
財務基盤強化

「基盤構築」売上の拡大
AWS・Azure構築技術者育成
Azure構築案件の獲得・拡大

クラウド開発技術者育成
Microsoftビジネスの検討
ERPビジネスの検討



# 中期経営計画で目指すもの <IKIグループのケイパビリティ>

IKIグループのケイパビリティ

お客様

共創 & DX

<IKIグループ>

アイエックス・ナレッジ  
グループ会社（C&Aコンピューター）

IKIグループ関連会社  
（HISホールディングス）

パートナー企業

# 中期経営計画で目指すもの <SDGs>

事業を通じて社会貢献していくことで、企業価値の維持向上を目指し、お客様との共創のもと、未来を創造してまいります。

## IKIのSDGs宣言

アイエックス・ナレッジ株式会社は、“情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する”という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」を経営課題の一つと捉え、全社一丸となって推進する事業活動を通じて、その達成に向け積極的に貢献してまいります。



## SDGs取り組み方針

当社は、企業理念と行動指針に基づき、持続的成長と企業価値の向上に努め、「平和と公正な社会」「すべての人が生き生きと活躍できる社会」「豊かで持続可能な社会」という3つの社会の実現に貢献できるよう、以下の取り組みを推進してまいります。

1. 平和と公正な社会の実現に貢献 ～公平で平等な企業活動の推進～
2. すべての人が生き生きと活躍できる社会の実現に貢献 ～人材育成や女性活躍の推進～
3. 豊かで持続可能な社会の実現に貢献 ～ITを活用した付加価値の創出～

継続的な貢献へ

# 中期経営計画で目指すもの <人的資本>

【企業理念】情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する

行動指針 + “IKIのあたりまえ”

中期経営計画

人財戦略方針・ビジョン

人財戦略アクションプラン（3つの柱）

①プロフェッショナル  
人財育成・リスキリング

②ダイバーシティ&  
インクルージョン推進

③エンゲージメント&  
職場環境向上

# 2024年3月期 取り組みポイント①

## 「持続的成長」を可能とする礎作り

### 営業体制

- **営業体制の強化**
  - ・チーム活動、提案型営業による攻めの営業体制へシフトチェンジ
  - ・戦略的営業活動の実施（クロスセル強化、営業KPIの計画化）
  - ・顧客ファーストの意識醸成
  - ・IKIグループとしての営業連携

### 開発体制

- **厳正な開発管理と新技術対応強化**
  - ・プロジェクトモニタリング ・原価管理徹底
  - ・開発要員の戦略的な適正稼働率維持
  - ・新技術、DX化に向けた開発体制整備

### 案件対応力

- **パートナー企業と共に案件対応力強化**
  - ・案件分野別にパートナー企業のカテゴリイズ  
（パートナー対応力のアセスメントと重点対応分野の明確化）
  - ・子会社との案件情報、リソースの連携
  - ・新技術に対応した人財教育

# 2024年3月期 取り組みポイント②

## 「持続的成長」を可能とする礎作り

### DX化 対応

- **DX化ニーズへの対応**
  - ・クラウド構築からクラウド開発への対応（AWS・Azure）
  - ・クラウドベースサービスへの対応  
（ERPビジネスの立上げと周辺サービスのビジネス化）
  - ・次期成長へのビジネスイノベーション  
（DX推進室とビジネスイノベーション室の統合）
  - ・ブロックチェーン、クラウド基盤構築及びアジャイル開発の更なる強化
  - ・新たな技術分野への取り組み

### 事業基盤 強化

- **中長期を見据えた積極的な投資活動へ**
  - ・PM育成、新技術習得などの人財育成
  - ・新卒、中途採用の強化による技術者確保
  - ・デジタル化投資、DX基盤の整備
  - ・成長のスピードアップとケイパビリティ拡大  
（事業提携・M&Aによる当社が保有していないケイパビリティの拡大）

# 2024年3月期 取り組みポイント <ピックアップ>

- **クラウドネイティブ人財の育成**
  - ✓ 計画的な人財育成 ⇒ お客様のDX化、ビジネス成長に貢献
- **子会社との連携強化**
  - ✓ 案件情報の共有、リソースの連携
- **積極的な事業投資**
  - ✓ 事業提携、M&Aの推進 ⇒ 人的リソース拡大、サービス領域拡大
- **継続的なSDGsへの取り組み**
  - ✓ 3つの社会の実現に貢献
- **人的資本経営を目指した人財戦略**
  - ✓ 人財戦略アクションプラン（3つの柱）

# 2024年3月期 業績予想

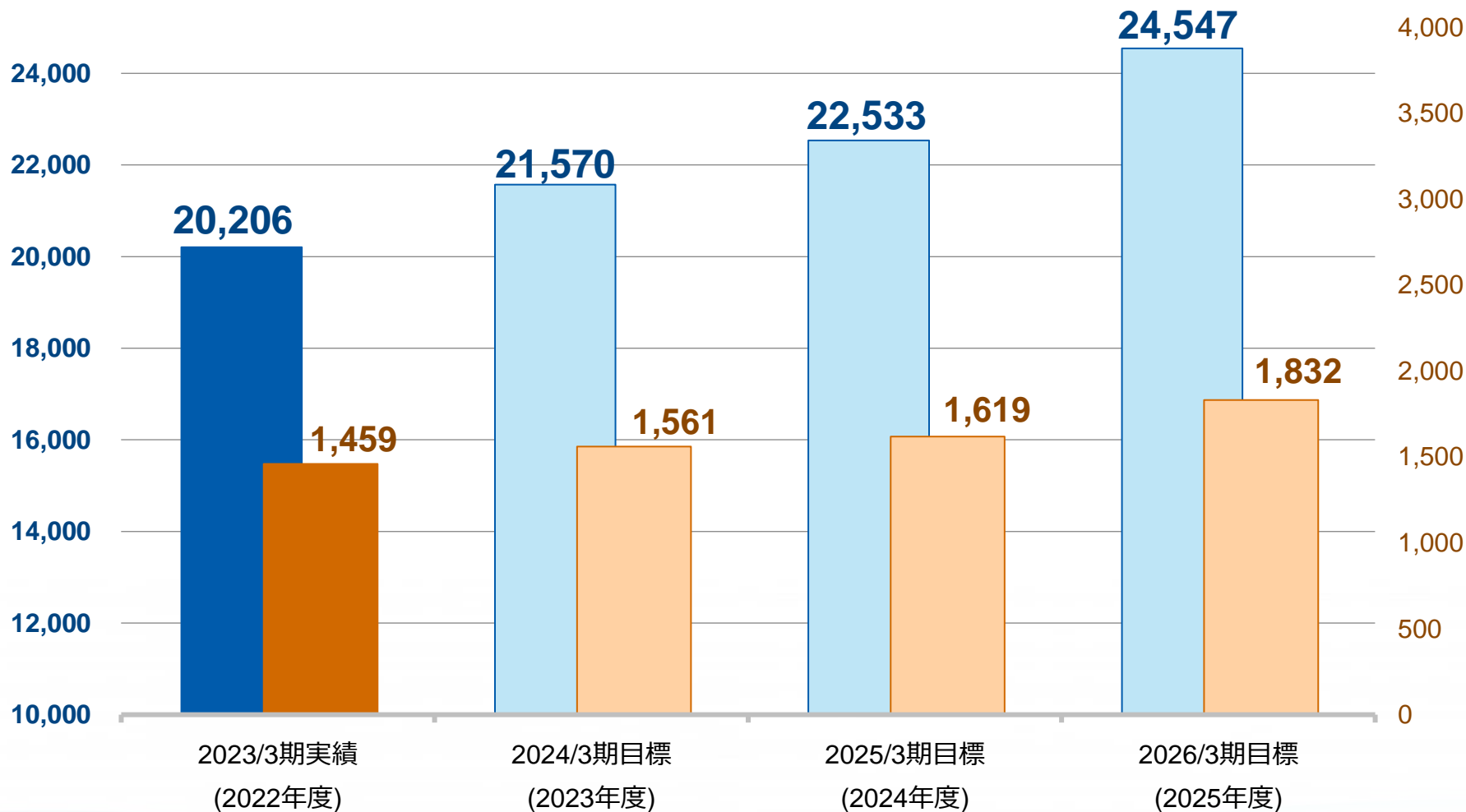
(単位：百万円)

	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減率
売上高	21,570	20,206	6.8%
売上原価	17,083	16,172	5.6%
売上総利益	4,486	4,033	11.2%
売上総利益率	20.8%	20.0%	—
販管費	2,925	2,573	13.7%
営業利益	1,561	1,459	7.0%
経常利益	1,626	1,533	6.1%
当期純利益	1,094	1,027	6.5%
配当金	30円	30円	—

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

# 中期業績目標

(単位：百万円)



■ 売上高 (左軸)    ■ 営業利益 (右軸)

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。





# IX Knowledge Inc.

## 「共創 & DX」

DXの流れに乗って社内外の共創を推進し市場“競争”に打ち勝つ

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先  
経営企画本部 経営管理部  
電話 03-6400-7010  
E-mail [ir@ikic.co.jp](mailto:ir@ikic.co.jp)  
URL <https://www.ikic.co.jp>